



# ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え  
進んで行動し  
学び続ける  
『キラリと光る励徳っ子』



第2号  
R5.4.21発行  
文責 永田 功臣

## 今年度になって変わったこと

令和5年度が始まり、子どもたちが登校し始めて2週間が経ちました。各種テストや健康診断等が続いてありますが、段々と通常の授業モードに移行してきました。子どもたちも休むことなく、学校生活のリズムに慣れてきたように感じます。1年生は今週まで4時間授業で帰っていましたが、来週から他学年との一斉下校となります。体調を崩さないように気を付けて通常モードに慣れてほしいと思います。

さて、児童数や子どもたちの状況の変化に伴い、今年度になって日課を少し変更し、**掃除の時間を8時20分からとしました**。週に1回は業間の時間を使って特別教室の掃除をします。登校してから掃除までの自由時間ができたので、外で遊んでいる子も見られます。

また、上級生の人数が少なくなったので**委員会の数を一つ減らしました**。一人一人の仕事量は増えていますが、みんな意欲的に頑張っています。

その他、**一人で登校しなければならない児童**も出てきました。いろんな変化に対応していかなければなりません。みんな工夫して乗り越えていきましょう。

## 久しぶりに歓迎遠足ができました

4月20日(木)に交通教室と歓迎遠足を実施しました。ここ数年、感染症拡大や雨で歓迎遠足ができていませんでしたが、今年は天気も良く、みんなで**緑川**



**ダムの子ども広場**へ行ってきました。

現地へ行く途中、金木交差点で**横断歩道の渡り方**のおさらいも行いました。曲がる車へも対応できるようにしっかりと注意を払ってほしいと思います。



現地でのレクリエーションや自由時間もしっかりと盛り上がり、楽しい思い出ができましたが、(励徳通信参照)、林道を通るときの枯葉を踏みしめる感覚

を体験できたり、たけのこの伸びている様子や「シャガ」という草花の群生が観察出来たりして、久しぶりの遠足が充実したものとなりました。



## ☆はうかう☆

～キラリと光るために～

このコーナーでは、なかま(はらから)の考えを短い作文(詩)で伝えていきます。他の人の考えを知り、自分でもそのことについて考えてみてください。

「光る」ためには自分からエネルギーを出す必要があるということを始業式で話しました。「声」もエネルギーの一つです。お腹からしっかりと声を出しましょう。

また、大きい事も大事ですが、**メリハリ**をつけたり、口を大きく開けて**はっきり**と言ったりして、自分の考えが相手に伝わるように工夫してみましょう。

みんなの前に立つ場面で「キラリと光る」ために先のことを考えて自分から大きな声を出すことがんばりたい

「大きな声を出すぞ！」  
六年 北島 秀都



## もっとサイエンス



身近なものを素材にして、知ること、考えることの楽しさを味わってもらいたいとの思いから、昨年度始めたこのコーナーですが、本年度も懲りずに続けていきたいと思ひます。

さて、今回のテーマは給食でも、最近よく使われている旬の食材「**たけのこ(竹)**」です。某TV番組で扱われていたので、その受け売りです。竹は1日に1m以上伸びたという記録がありますが、**なぜそんなに成長が早いのでしょうか**。実際に成長している竹を見たり、たけのこ掘りを体験したことはありませんか。

早く伸びる仕組みは、ほかの植物に比べて**成長するところが節ごとにたくさんあり、その部分が一齐に伸びるから**だそうです。また、たけのこの時期に**動物に食べられないように早く成長する必要がある**ことも理由の一つだそうです。

竹のその他の性質のとして、「**しなやかさ**」があります。その性質を利用して弓やかご、建築資材のほかいろいろな道具等に使われています。なぜ、しなやかなのか考えたり、調べたりしてみましょう。また、竹にならってしなやかな体づくりを目指しましょう。